

|       |      |
|-------|------|
| 指導教員名 | 清水信年 |
|-------|------|

|      |       |     |       |
|------|-------|-----|-------|
| 活動区分 | 商品開発型 | 連携先 | 企業    |
|      |       |     | 自治体・国 |
|      |       |     |       |

## ～ 尼崎市内企業魅力発信事業 ～

### 活動の様子



### 取り組む課題

「段ボールのフルカラー印刷技術を用いた新商品提案」をテーマとし、同社が持つ段ボール紙の表面にフルカラー印刷できる技術「からフル」を活用した商品・サービスの幅を広げる提案を行う。学生は、企業の持つ技術や置かれた経営環境を把握し、ターゲットとなる組織や個人のニーズを分析したうえで、段ボールのフルカラー印刷技術を用いた新しい商品・サービスを企画・提案する。



### 本学(学生)の役割

清水ゼミの学生は3チームに分かれ、それぞれ同社や同業他社での既存の取り組み内容を調べた。その上で、提案する商品・サービスのターゲット顧客を具体的に設定し、その状況やニーズを把握するための市場調査も行った。2024年4月25日に行なった最終報告会において、企画内容をまとめたプレゼンテーションを同社ならびに尼崎市役所の担当者へプレゼンテーションを行なうことが求められた。学生には、日ごろ学んでいるマーケティングや経営学の知識を実践して活かすことが期待されている。

### 企画・活動概要

尼崎市役所から紹介いただくものづくり企業の技術力を生かし、マーケティングを学ぶ大学生が新商品やマーケティング活動の企画提案を行う事業である。新たに2023年11月より、段ボール製造を手がけるトータルバック株式会社(尼崎市平左衛門町18-34)にご協力いただけることになり、清水ゼミ2年生の3チームが挑戦することとなった。最終報告会を行なう2024年4月までの約半年に及ぶ取り組みだが、今回の社会共創活動助成の申請はその後半期間にあたる2024年4月1日～25日の最終報告会までのものである。

### 活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

2024年4月25日に行われた最終報告会では、3チームのプレゼンテーションが行われ、同社や尼崎市役所の担当者からも多くの質問やコメントが寄せられた。1月の中間報告会では同社社長・西畑実氏や同社社員の方々からの多くの指摘やリクエストが寄せられたが、そこから完成度を上げてこの日に臨んだことに対する評価をいただくことができた。中間報告会を経て多くの気づきを得た学生たちは、プレゼンテーション自体の練度も上がっていることが感じられた。



### 経緯・背景・目的

当事業に清水ゼミは2015年から参画しており、毎年度異なる市内企業にご協力をいただいている。当事業に取り組むことには、尼崎市や当該企業においては高い技術力を有することや新事業に挑戦する姿勢があることなどを示して市内企業をアピールするという狙いがある。大学側においては、実際に当該企業に商品化や事業化を検討していただけるレベルの企画を提案するという、実学教育の機会を得て学生の学びの深化や成長につなげることができるというメリットがある。尼崎市役所や市内企業にも、この点をご理解いただきご協力をいただいている。

### 指導教員および関係者の紹介

#### <指導教員>

商学部  
マーケティング学科  
教授  
清水信年(シミスノブシ)  
  
<専門・担当科目等>  
マーケティング論

#### <関係者・企業等>

尼崎市経済環境局経済部しごと支援課  
トータルバック株式会社